



ネクスト香川「EMC研究会」のご案内

◇電磁波理論の基礎とシールド対策設計◇

(公財)かがわ産業支援財団が設置する「かがわ EMC 技術研究会」では、平成 30 年度の「EMC 研究会」を次のとおり実施いたします。

今回は、兵庫県立大学名誉教授の畠山賢一氏をお招きし、EMC(※)対策の中でも最も厄介なシールド対策の考え方についてご講演いただくと共に、「かがわ EMC 技術研究会」の古賀会長から、電磁波理論の基礎を平易に解説する予定です。

電気・電子機器の設計や EMC に関する対策・評価をご担当されているエンジニアの方々に大変ご参考になる内容となっておりますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

※EMC:electromagnetic compatibilityの略。動作中に他の機器や人体に悪影響を及ぼす電磁妨害を発生させず、かつ、他の機器が発する電磁波などの影響を受けない機能のこと。

■ **開催日時** 平成30年6月5日(火) 13:00～17:00

■ **会場** ネクスト香川 3階「大会議室」

〒761-0301 高松市林町 2217 番地 44

■ **主催** かがわ EMC 技術研究会

■ **申込方法** 申込票に必要事項をご記入の上、Eメールもしくは FAX でお申し込み下さい。

■ **参加費** 無料

■ **対象** 研究会会員 他

■ **プログラム**

1. 開会の挨拶	かがわ EMC 技術研究会 会長 古賀 隆治
2. 事務局からの報告	かがわ EMC 技術研究会
3. 小講演:「磁流とスロットアンテナ」 金属管体によるシールドは、面積は小さくても隙間があったら効果がない、とされる。その原理の説明には Maxwell の方程式から始まり、いささかの数学的トリックを用いて行うのが一般的である。しかし、実用的な場合に限ればその説明は簡単である。一見複雑そうに見える例を取り上げて、それがいとも簡単であることを紹介する。	かがわ EMC 技術研究会 会長 古賀 隆治 氏 (岡山大学名誉教授)
4. 講演:「金属を含む導電材を用いる電磁シールドの考え方」 本講演では各種電磁シールド技術の紹介から始め、不要電磁波発生源と遠方界/近傍界、電子機器管体の電磁波漏洩源と低周波共鳴などを基本事項として解説する。次に、導電材料を用いる電磁波シールドについて、数 10kHz 程度の低周波から、ミリ波に至る高周波までの扱いを述べ、電磁シールドの考え方について説明する。	兵庫県立大学名誉教授 (特任教授、非常勤教授) 畠山 賢一 氏

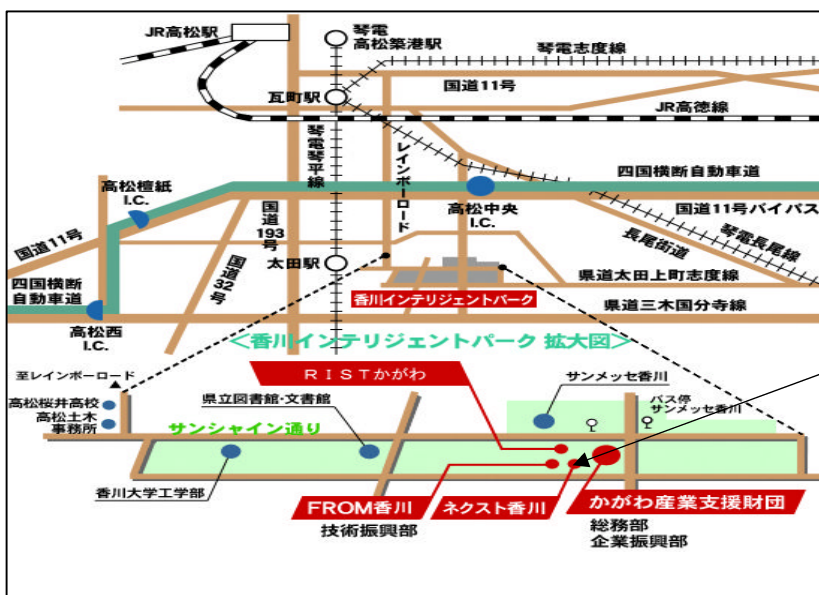
「EMC研究会」申込書

提出期日：平成30年 5月 29日（火）

企業・団体名		
記入者氏名	TEL	
	E-mail	

6月 5日(火)	所属・役職	氏名	

■ 開催会場ご案内



新規産業創出支援センター
ネクスト香川 3F 大会議室

お申込み先 FAX 087-864-5331

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部施設管理課 大山、村井 行

E-mail next@kagawa-isf.jp

TEL 087-864-5311